

ADVANTEST.

2017年度(2018年3月期) 第3四半期決算説明会

2018年1月30日

株式会社アドバンテスト

ご注意

◆会計基準について

本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

◆将来の見通しに関する記述について

本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

◆本資料の利用について

本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用(改変、複製、転用等)することを禁止します。

ADVANTEST.

2017年度第3四半期 決算報告

常務執行役員

藤田 敦司

業績概要

(億円)

	16年度				17年度			前期比		前年同期比		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	438	285	440	484	494	562	568	+6	+1.0%	+128	+29.0%	
売上高	407	355	314	483	407	477	509	+32	+6.6%	+195	+62.1%	
売上総利益	253	210	181	253	206	249	232	-16	-6.4%	+52	+29.0%	
売上総利益率	62.2%	59.3%	57.6%	52.4%	50.6%	52.1%	45.8%	-6.3pts		-11.8pts		
営業利益	57	26	10	46	22	52	32	-20	-37.7%	+23	+232.3%	
営業利益率	14.1%	7.3%	3.1%	9.5%	5.5%	10.9%	6.4%	-4.5pts		+3.3pts		
税引前四半期利益	62	29	6	53	16	48	34	-14	-29.3%	+28	+438.7%	
四半期利益	50	23	1	68	10	39	26	-14	-35.3%	+24	22.7倍	
四半期利益率	12.2%	6.4%	0.4%	14.1%	2.4%	8.2%	5.0%	-3.2pts		+4.6pts		
受注残	365	295	422	422	509	594	653	+59	+9.9%	+231	+54.9%	
為替レート	1米ドル	111円	104円	105円	115円	112円	111円	112円	1円	円安	7円	円安
	1ユーロ	124円	116円	115円	122円	121円	128円	132円	4円	円安	17円	円安

ADVANTEST.

2018/1/30

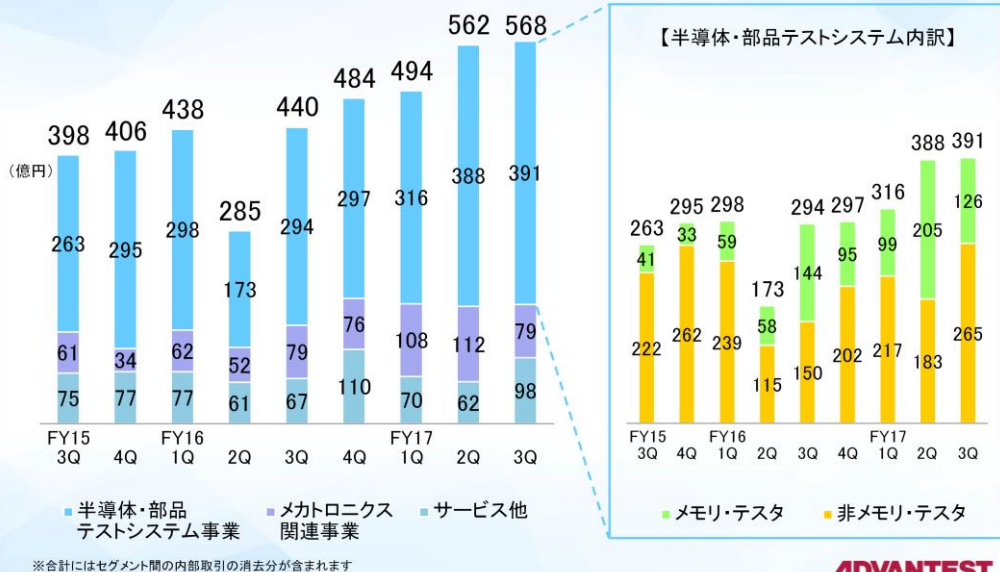
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

○ 2017年度第3四半期の業績概要

- ・ 受注高 568億円 前期比 1.0%増で 6億円増加
- ・ 売上高 509億円 前期比 6.6%増で 32億円増加
- ・ 売上総利益 232億円 前期比 6.4%減で 16億円減少
- ・ 営業利益 32億円 前期比 37.7%減で 20億円減少
- ・ 税引前四半期利益 34億円 前期比 29.3%減で 14億円減少
- ・ 四半期利益 26億円 前期比 35.3%減で 14億円減少
- ・ 非メモリ・テストの需要が伸び、事前の社内予想を大きく超える受注高となった
- ・ 例年、第3四半期は売上高が落ち込むパターンがあったが、メモリ・テストの好調と非メモリ・テストの復調によって、売上高が増加
- ・ 利益については、後ほど説明するナノテクノロジー事業の棚卸資産評価損33億円の影響があり前期比減少したが、前年同期比では全ての項目で増加
- ・ 受注残 59億円増の 653億円
- ・ 為替実績は 1ドル 112円、1ユーロ 132円

四半期受注高 事業セグメント別



ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

○ 2017年度第三四半期のセグメント別受注高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前期並み **391億円**
 うち非メモリ・テスト **265億円**
 メモリ・テスト **126億円**
- ・ 非メモリ・テストは、ハイエンド・スマートフォン関連の需要が想定以上に伸長、MCUや車載半導体向けも好調
- ・ メモリ・テストは、NANDフラッシュ向け、DRAM向けとも反動減があったものの、好調を維持

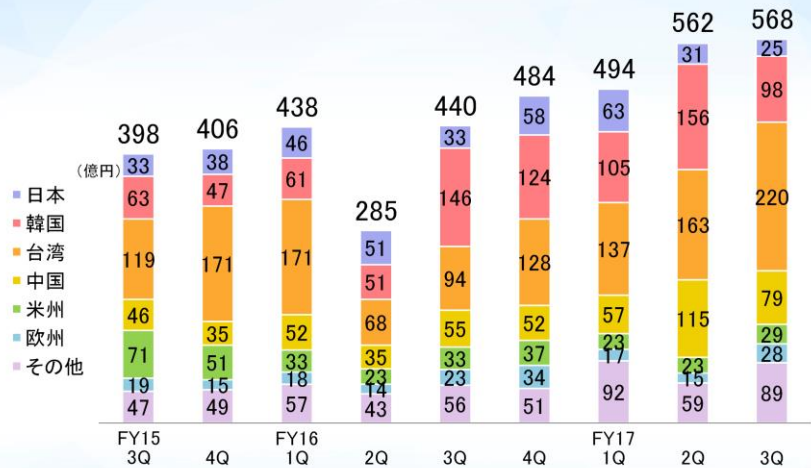
○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前期比 **30%減** **79億円**
- ・ テスタの受注動向に沿った、メモリ・テスト周辺機器の受注減

○ サービス他

- ・ 前期比 **56%増** **98億円**
- ・ 保守契約の回復、SSDテスト受注の伸びによるもの

四半期受注高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

○ 2017年度第3四半期の地域別受注高

- 前期比で変動が大きかった地域

台湾

メモリ・テストは減少したが、ハイエンド・スマートフォン関連の非メモリ・テスト需要の伸びが上回る

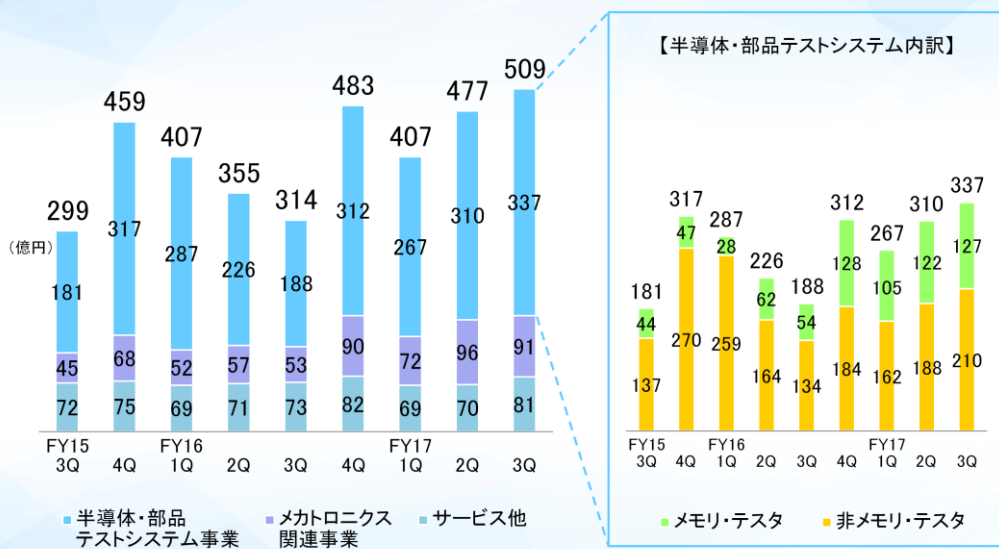
その他地域

主に東南アジア方面で、車載半導体関連のテスト需要の伸び

韓国、中国

2Qに大きな受注があったメモリ関連がいったん減少、ただし高水準な状態が継続

四半期売上高 事業セグメント別



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

○ 2017年度第3四半期のセグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前期比 9%増 337億円
うち非メモリ・テスト 210億円
メモリ・テスト 127億円

- ・ 非メモリ・テストは、車載向けの売上が堅調な上、スマートフォン向けも回復
- ・ メモリ・テストの好調が継続、今期も100億円を越える売上を達成

○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前期比 6%減 91億円

○ サービス他

- ・ 前期比 14%増 81億円
- ・ フィールドサービス売上が伸びた

四半期売上高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

8

○ 2017年度第3四半期の地域別売上高

- 地域別のバランスに大きな変動なし
- 各地域の売上高増減理由は、受注の増減理由と同じ
- 台湾は、ハイエンド・スマートフォンに使われる半導体向けのテスト販売が伸びた
- その他地域は、車載半導体向けの売上が増加した

これらの結果、海外売上比率 92.8%

売上高/売上総利益/営業利益



○ 2017年度第3四半期の営業利益

- 売上総利益**
 前期比 16億円減 232億円
 ナノテクノロジー事業で棚卸資産評価損 33億円を計上したため
- 売上総利益率**
 前期比 6.3ポイント悪化 45.8%
 ナノテク事業の評価損影響を除くと 52.3%
- 販管費等**
 前期比 4億円増 200億円
 売上増に伴う販売費の連動増
- 営業利益**
 前期比 20億円減 32億円
- 営業利益率**
 前期比 4.5ポイント悪化 6.4%
- 今回の評価損の背景を説明します
- ナノテクノロジー事業で、事業拡大に向け、高スループットなウエハ描画を実現するEB露光装置の量産化を進めていました。しかしながら技術的に難易度が高く、プロジェクトの長期化が避けられない状況となり、中止を決定したものです
- これにより活用が見込めなくなった生産関連部材に対し、33億円の評価損を計上しました

研究開発費/設備投資/減価償却費



ADVANTEST.

2018/1/30

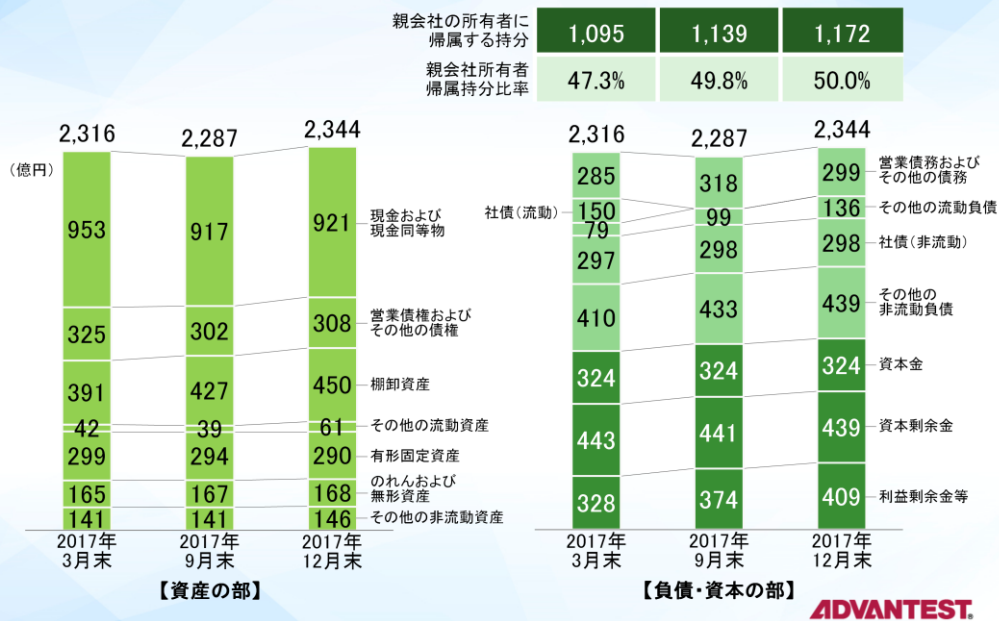
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

10

○ 2017年度第3四半期の研究開発費等

- 研究開発費 78億円
賞与引当金の減少
- 設備投資 11億円
- 減価償却費 12億円

連結財政状態



2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

11

○ 2017年12月末時点のバランス・シート

- 現金および現金同等物
前期末比 3億円増 921億円
- 棚卸資産
前期末比 23億円増 450億円
今後のテスト需要増への備えとして、先行して部材確保を進めたもの
- 親会社の所有者に帰属する持分 1,172億円
- 親会社所有者帰属持分比率
前期末比 0.2ポイント伸びて 50.0%

今後の事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長
吉田 芳明

CY18年市場予想

	CY17推定	CY18推定	変化率
非メモリ・テスト市場	約\$2,200M	約\$2,200～\$2,300M	前年比 0%～5%増
メモリ・テスト市場	約\$750M	約\$850～\$900M	前年比 10%～20%増

- ✓ 18年も半導体テスト市場の活況が持続する見通し
- ✓ 非メモリ・テスト市場は、車載やディスプレイ関連で堅調な需要が続くほか、ロジックICの微細化・高性能化に関連した投資が進展
- ✓ メモリ・テストは今後も高水準な需要を期待

ADVANTEST.

○ CY2018年の市場予想

- 当社の18年のテスト市場の予想です。17年は予想を超えて市場が伸びました。さらにそこから18年はもう一段の伸びを期待しています。
- 17年の非メモリ・テスト市場は、16年比で10%ほど伸びました。そこからさらに、18年は5%程度の成長を見込んでいます。17年はスマートフォン向けは低調でしたが、非スマートフォンの市場、具体的には車載半導体向けやディスプレイ向けの伸びがその落ち込みを補いました。
- 有カスマートフォンの販売先行きを懸念する一部報道が本日ありましたが、我々の見通しに変更はなく、非メモリ・テスト市場は、17年と同レベルか、それ以上の規模を見込める、と現時点では考えています。
- アプリケーション別には、17年に伸びた車載やディスプレイ関連は、18年も堅調な需要が望めます。
- また、スマートフォンやAIサーバーに使われる高性能なロジックICが、今年一段と微細化・高性能化します。それに伴うテストの投資増も見込めます。
- 17年のメモリ・テスト市場は、16年比で約70%伸びました。18年は前年比10%を超える成長率のもと、\$850M～\$900Mくらいの規模となると見込んでいます。
- メモリの生産増と大容量化が続く中、テストタイムの増加とあいまって、高水準な需要が続くと期待しています。
- 18年のメモリ・テスト市場は、NANDフラッシュ、NORフラッシュ、ストレージ・クラス・メモリなど不揮発性メモリ向け、DRAM向け、どちらにも投資が続く見込みです。

17年度業績予想

(億円)

	16年度実績	17年度予想 (10月時点)	17年度予想 (1月時点)	前年度比	
				増減額	増減率
受注高	1,647	1,880	2,200	+553	+33.6%
売上高	1,559	1,800	1,950	+391	+25.1%
半導体・部品テストシステム事業	1,013	1,185	1,330	+317	+31.3%
メカトロニクス関連事業	252	305	330	+78	+31.0%
サービス他	295	310	290	-5	-1.7%
営業利益	139	180	200	+61	+43.8%
営業利益率	8.9%	10.0%	10.3%	+1.4pts	
税引前利益	150	170	190	+40	+26.5%
当期利益	142	145	150	+8	+5.6%
当期利益率	9.1%	8.1%	7.7%	-1.4pts	
受注残	422	502	672	+250	+59.2%
1株当たり年間配当金	25円	26円	26円	1円	増配
為替レート	1米ドル	108円	110円	111円	3円 円安
	1ユーロ	119円	130円	129円	10円 円安

※売上高合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

14

○ 2017年度の業績予想

- 今期の業績予想は次の通りです。
 - 受注高 2,200億円
 - 売上高 1,950億円
 - 営業利益 200億円
 - 当期利益 150億円
- 受注残は600億円を超える、かなり高い水準で今期を終える見込みです。テスト市場は来年度も成長する見通しですので、売上高をもう一段伸ばせるようにしたい。その可能性は充分あると思っています。12年ぶりの、2,000億円超の売上高を期待しています。
- 3Qに行った棚卸資産の評価損33億などにより、今期の利益率の改善は小幅にとどまる予想ですが、来期は利益率をもっと伸ばせるよう、いろいろと施策を打っていきます。
- なお、16年度の当期利益は、繰延税金資産を計上した関係で、税負担率がかなり小さくなっています。また17年度の当期利益予想には、米国の法人税減税による、一時的な税金費用増を織り込んでいます。
- この2つの要因により、当期利益の前期からの伸びが小幅となる見込みです。
- 当社の配当は、半期連結配当性向30%を指標にしています。
- 17年度の配当予想は前回予想から変更なく、年間26円の予定です。中間期末の配当実績は9円でしたので、期末配当予想は17円です。前年と比べ、年間で1株当たり1円の増配です。

17年度4Q業績予想



	FY17 3Q実績	FY17 4Q予想
受注高	568	576
売上高	509	557
半導体・部品テストシステム事業	337	416
メカトロニクス関連事業	91	71
サービス他	81	70
営業利益	32	94
営業利益率	6.4%	16.8%
税引前四半期利益	34	92
四半期利益	26	75
四半期利益率	5.0%	13.5%
為替レート	1米ドル	112円
	1ユーロ	132円

※FY17 4Q為替感応度予想(1円安時、対営業利益)
米ドル:+1億円、ユーロ:-0.3億円

ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

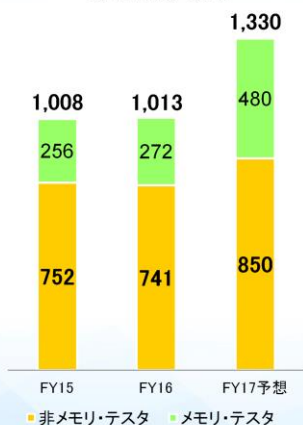
15

○ 2017年度第4四半期の業績予想

- 4Qの業績予想は次の通りです。右肩上がり売上の売上トレンドが続く見通しです。
 - 受注高 576億円
 - 売上高 557億円
 - 営業利益 94億円
 - 当期利益 75億円
- 4Q受注については、テスト市場の活況が続いていることから、引き続き良いレベルの数字を確保できる見通しです。
- 非メモリ・テストの3Qの受注増が4Qの売上に貢献し、全社の売上高は550億円を超過する見通しです。
- 4Qのメモリ・テストの売上は、ここ数四半期の実績と同様、100億円プラスアルファのペースを維持する見通しです。
- メカトロニクス事業とサービス他事業の売上は、前期比やや減と予想していません。
- 4Qの営業利益率は、過去10年でもっとも高い、16.8%になる見通しです。

17年度見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム
売上高推移（億円）



■ 半導体・部品テストシステム

非メモリ・テスト事業

- ✓ 車載半導体用テスト、ディスプレイドライバ用テストに対する顧客の積極投資が続く
- ✓ ハイエンド・スマートフォン用のロジックICのテスト需要が3Qから復調
- ✓ ハイパフォーマンス・コンピューティング用の高速ロジックIC向けのテスト需要も年明け一段活発に

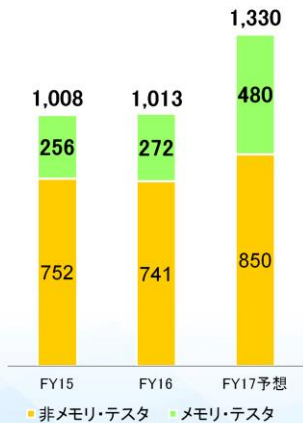
ADVANTEST.

○ 半導体・部品テストシステム事業の今期見通し

- まず非メモリ・テストです。
- 非メモリ・テスト事業の今期の売上見通しは、前回予想より145億円プラスの850億円です。過去は3Qにこのビジネスの回復を見ていましたが、少し遅れてこの4Qに、約300億円の売上高を見込んでいます。
- 有機ELパネル関連、車載半導体関連の顧客の積極的な投資が続いていることが、今年度の非メモリ・テスト事業の売上を支えてきました。
- それに加えて、以前から下期に伸びると説明していた中国スマートフォン関連のビジネスが、予想以上のボリュームで動いており、これが4Qの盛り上がりにつながります。
- スマートフォン自体の売れ行きについてはあまり強いものが見込まれていませんが、ハイエンド・スマートフォン用のロジックICの高性能化や微細化に沿ってテストタイムが伸び、またテストの複雑化が増すことで、より多くのテストが求められると思っています。
- また、スマートフォン以外のロジックICでも堅調なテスト需要があります。AIなどのハイパフォーマンス・コンピューティングに使われる、GPUをはじめとした高速ロジックIC向けのテスト需要が、年明けに一段伸びてきています。

17年度見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム
売上高推移（億円）



■ 半導体・部品テストシステム

メモリ・テスト事業

- ✓ NANDフラッシュ層数向上に伴うテストタイム増加を受け、テストへの積極投資が持続
- ✓ 3D NANDの信頼性保証ニーズの拡大に沿って、バーインテストの強化も進展
- ✓ DRAM後工程用高速テストの投資は堅調
- ✓ 生産能力改善に向けた、DRAM用旧型テストの置き換え需要も持続

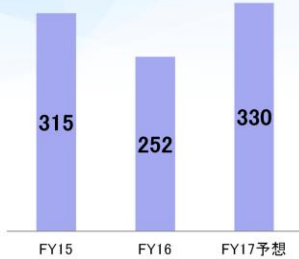
ADVANTEST.

○ 半導体・部品テストシステム事業の今期見通し

- ・ 次にメモリ・テストです。
- ・ 今期のメモリ・テスト事業の売上予想は、前回と同じ 480億円です。
- ・ 16年のメモリ・テスト市場は\$470Mでしたが、そこから市場が70%伸びていく過程で、当社はかなりシェアを伸ばしていると思います。
- ・ NANDフラッシュメモリ向けでは、64層や72層の3D NAND量産に向けたウエハテスト工程の増強や、3D NANDの信頼性を保証するためのバーインテストの強化が引き続き進展中です。
- ・ また、台湾や中国の顧客からのNORフラッシュ用テストの引き合いも旺盛です。
- ・ DRAM関連では、LPDDR4などの高速メモリ向けのテスト増強、生産性改善のための古いDRAM後工程テストの置き換え投資が、引き続き安定的に続く見通しです。

17年度見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



■ メカトロニクス関連

- ✓ メモリ・テスト需要の伸びと呼応し、デバイス・インターフェース需要も好調
- ✓ 車載向け、ハイエンドSoC向けのハンドラ需要も増加中
- ✓ ナノテク製品は需要の端境期で前期比減

サービス他 売上高推移（億円）



■ サービス他

- ✓ 半導体市場の盛り上がりにより中古テストが払底、中古販売ビジネスの見通しを引き下げ

ADVANTEST.

2018/1/30

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

18

○ メカトロニクス関連、サービス他事業の今期見通し

- メカトロニクス事業の今期売上予想は 前回予想から25億円増 330億円です。
- 前回は35億円、見通しを上方修正しましたが、メモリ・テスト需要と連動し、デバイス・インターフェースの需要が好調です。
- ハンドラも順調です。車載半導体やハイエンドSoCの試験に行われている低温試験、高温試験の現場で当社ハンドラが好評です。テストとのターンキーソリューションを強化している成果です。
- ナノテクについては、先に先端EB露光装置の量産化中止の説明をしました。そのプロジェクトは中止しましたが、この事業から撤退は考えていません。
- 従来から販売しているEB露光装置は、主に先端半導体プロセスの開発評価向けに、年間複数台の需要を継続して得ています。CD-SEMをはじめとするEB計測機器も、大手半導体メーカーの微細化が進む、来期以降の市況回復を見込んでいます。
- 33億円の評価損を出したプロジェクトは、半導体量産向けの露光装置市場への参入にチャレンジしたのですが、残念ながらうまくいきませんでした。非常に技術的ハードルが高いこと、顧客に納入するまで長期間かかること、好況なテスト事業とのリソースバランスを熟慮し、中止を判断しました。しかし当社のEB制御技術は、業界で高く評価されています。体制を新たにして、ナノテク事業の拡大に取り組んでいきたいと考えています。
- 最後に、サービス他事業の今年度の売上予想は、前回から20億円マイナスの290億円です。
- 半導体市場が活況過ぎて中古テストが市場から無くなってしまい、中古販売ビジネスが思ったほど伸びないという見通しに転じたことが、主な理由です。

重点施策

■ 事業拡大に向けて

〈持続的成長への布石〉

AI、5G通信、ADAS等、先端有望テーマに対する
開発・サポート体制を強化

〈製品供給能力増強〉

市場成長ペースに見合った生産体制の整備

■ 研究開発投資等 17年度見通し:前回より変更なし

- ✓ 研究開発費 : 340億円 (16年度実績: 312億円)
- ✓ 設備投資 : 65億円 (16年度実績: 48億円)
- ✓ 減価償却費 : 50億円 (16年度実績: 52億円)

ADVANTEST.

○ 2017年度下期のポイント

- 短期的、中長期的に事業を伸ばしていくための重点施策については、3ヶ月前から大きく変わりありません。
- AI、5G通信、ADASといった有望イノベーションに使われる半導体には、しっかりとした試験が必要です。それら分野に対する研究開発や、営業・サポート体制の強化を進めることが、持続的成長のために大事だと考えています。
- 短期的な重点テーマである生産能力改善については、ここ12ヶ月の当社の受注トレンドでお分かりのようにテスト需要が急速に伸び続けており、需要に完全に追随しきれっていません。
- 電機セクターはじめ、産業界全体でのサプライチェーンの部品供給問題の改善が遅れており、解決するまでにはもう少し時間を要するというのが現状の見通しです。今後も生産拡大のための努力を行っていきます。
- 研究開発や設備投資は、今後市場の伸びが見込まれる中で、強化すべき時期にあります。コストを掛けるべきところには掛け、将来の成長を担保していきたいと考えています。

サマリー

- ✓ 18年も半導体テスタ市場の活況が持続する見通し
- ✓ 非メモリ・テスタ市場は足元好転中。今後ロジックIC、車載向け、ディスプレイ向けと全方位的に高水準な需要が期待できる
- ✓ メモリ・テスタ市場も、不揮発性メモリ向け、DRAM向けとも、高水準な需要が続く見通し
- ✓ 想定以上の需要増加が続く中で、生産能力の引き上げに全力
- ✓ AI、5G通信、ADAS等、先端有望テーマに対する事業基盤強化を継続的に推進

ADVANTEST.

○ サマリー

- 以上、テスタ市場の見通しと、当社の事業の見通しについてお話しました。